



\\ ピグマキッズクラブの F・Kさん が えらんだ //

ぼくの わたしの すきな えほん



(出版社: 福音館書店)

どんなことが かいてある えほんかな？

ぼくが、えほん おもしろかった えほんは、『三びきのやぎの がらがらどん』です。りゅうは、さいご 大きな やぎの がらがらどんが トロールを こっぴみじんにして、たおしたからです。それで、ぼくの こころが すっと すっきり しました。だから、この えほんが すきに なりました。

えほんの なまえ

ノルウェーの昔話 三びきのやぎの がらがらどん

えほんを かいた ひとの なまえ

マーシャ・ブラウン(絵) / 瀬田貞二(訳)

保護者からのコメント

『三びきのやぎの がらがらどん』は毎晩のように読み聞かせていました。3才~4才頃は結構真剣な表情で聞いていました。三びきのやぎも好きでしたが、トロールも好きでした。「みんな仲良くすればいいのにね」と言っていたのを記憶しています。その時々で感想も違って、私もおもしろかったです。

ノルウェーの昔話のひとつで、瀬田貞二さんの訳による『三びきのやぎの がらがらどん』。みなさんも一度は読んだり聞いたりしたことがあるのではないのでしょうか。F・Kさんは、大きなやぎの がらがらどんが、トロールを倒した場面での心情をその時の情景と重ねるように書いてくれました。絵本は、読むたびに新しい発見と感想をもたらしてくれます。次にF・Kさんが手に取ったときは、どのような印象を持つのでしょうか。



